


# 住友重機械搬送システム（株）のご紹介

2016/10/6

 住友重機械搬送システム株式会社  
社長 横田 克英

## INDEX

**01 住友重機械搬送システム(株) 会社概要**

**02 経営方針と中期経営計画2016の進捗**

**03 産業用クレーン事業戦略**

# 01

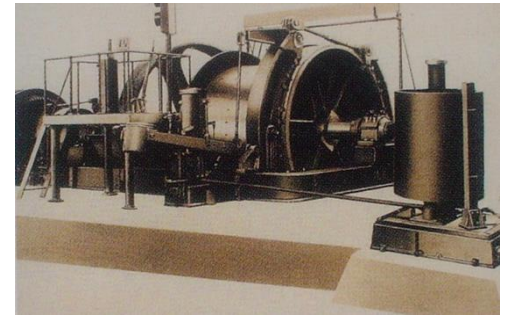
## 住友重機械搬送システム(株) 会社概要

## 01

## 住友重機械の産業用クレーン事業の沿革

## 産業用クレーンは住友重機械の祖業

- 1888年 別子鉱業所 工作係として機械修理を開始  
1912年 天井クレーン1号機を納入
- 2002年 住友重機械から運搬機事業部を分社化し、  
“住友重機械エンジニアリングサービス(株)”  
(SES) として再スタート
- 2013年 住友重機械より物流・駐車場システムの  
機種を移管し、  
“住友重機械搬送システム(株)”  
(SHI-MH) に社名変更
- 2015年 三菱重工マシナリーテクノロジー(株)  
産業用クレーン事業を吸収分割統合



大正期  
別子銅山 単胴電動式巻上機



昭和11年納入  
水平引き込み式クレーン

## 01

## 新居浜工場のご紹介

## 創業当初から現在まで“新居浜”を拠点にモノづくり

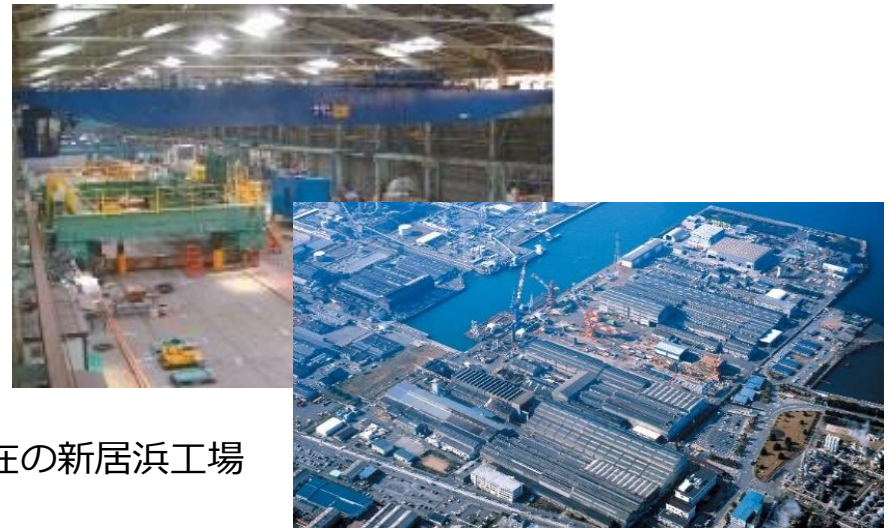
## 新居浜工場の特徴

構造物製作から製品完成まで  
モノづくりのすべての製作工程を  
有する自前の工場を堅持

新居浜をマザーファクトリーとして  
産業用クレーン事業を展開、  
地域経済にも貢献



昭和10年頃の新居浜工場



現在の新居浜工場

# 01 住友重機械搬送システム 沿革

住友重機械

子会社

ロジスティクス&パーキングシステム(LPS)事業部

1888  
別子鉱業所の工作係として  
運搬機事業が発足 ⇒ 運搬機事業部

1912：天井クレーン1号機納入

住友重機械  
エンジニアリングサービス(株)  
(SES)

2002.6  
運搬機事業部を分社化し、  
SESを承継会社として  
再スタート

サービスも自社内機能化し、  
営業、設計、製造、調達、  
工事、サービスまで顧客対応  
のフル機能を装備

2013.4  
住友重機械  
搬送システム(株)

- ・2013/4住友重機械のLPS事業を吸収分割により編入
- ・社名をSESからSHI-MHに改名

搬送システム  
事業

物流システム  
事業

機械式駐車場  
事業

2015.10  
統合

2015/10  
三菱マシナリ  
テクノロジーの  
産業用クレーン  
事業を統合

1999 スミメックエンジニアリング(株)

1997 住重機械技術(香港)

2003 住重搬運機械(上海)

## 01

## 会社概要

名称

住友重機械搬送システム株式会社  
(略称 SHI-MH)

発足

2013年4月1日

資本金

480百万円 (住友重機械 約82.8%, 三菱重工 約17.2%出資)

従業員数

約750名

事業内容

運搬機械、物流機械、駐車装置、検査装置等の  
エンジニアリング・設計・製造・据付・販売・改造・  
修理・点検・検査・調整・保守サービス

関係会社

- ・ スミツエンジニアリング株式会社 (住友重機械30%, SHI-MH70%出資)
- ・ 住重機械技術 (香港) 有限公司 (SHI-MH100%出資)
- ・ 住重搬送機械 (上海) 有限公司 (SHI-MH100%出資)

# 01 産業用クレーン・アンローダーの商品群

天井クレーン  
OHC



レールクレーン  
LC(製鋼クレーン)



ジブクレーン  
JC



ゴライアスクレーン  
GC



凡例

- 屋内クレーン
- 屋外クレーン
- 連続機

橋形クレーン  
BTC



水平引込  
クレーンLLC



コンテナクレーン  
CC



トランスファー  
クレーンTC



フローティングクレーン  
FC



連続アンローダー  
CSU (CUL)



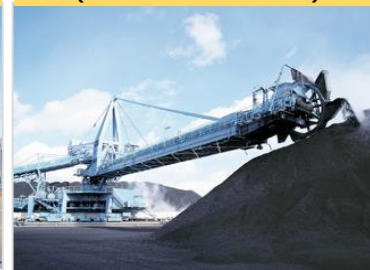
ツインベルト式  
アンローダーTBU



垂直スクリュコンベア式  
連続アンローダーVSC



ヤード機械  
(リクレーマー等)



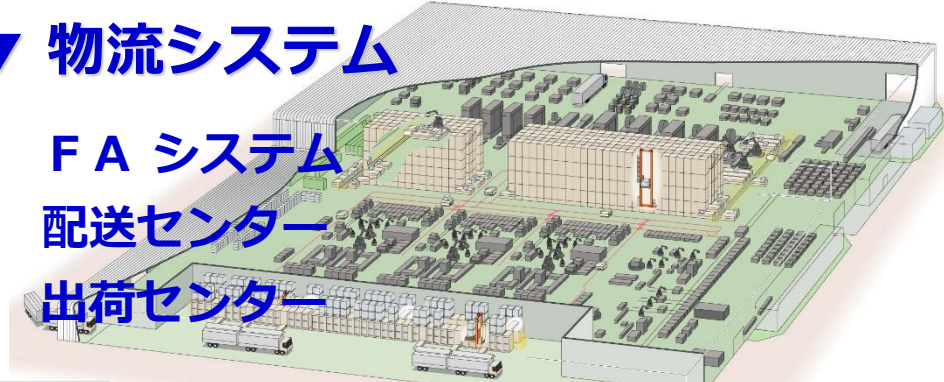
ベルトコンベア  
BC



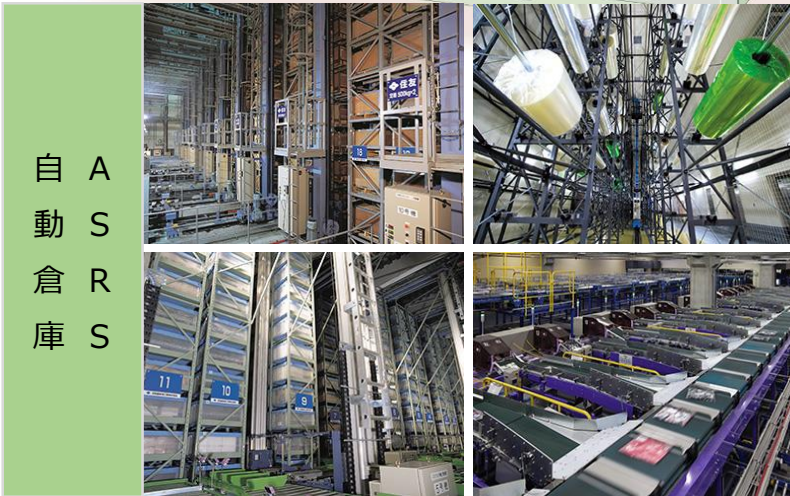


# 01 物流システム / パーキングシステムの商品群

## ▼ 物流システム



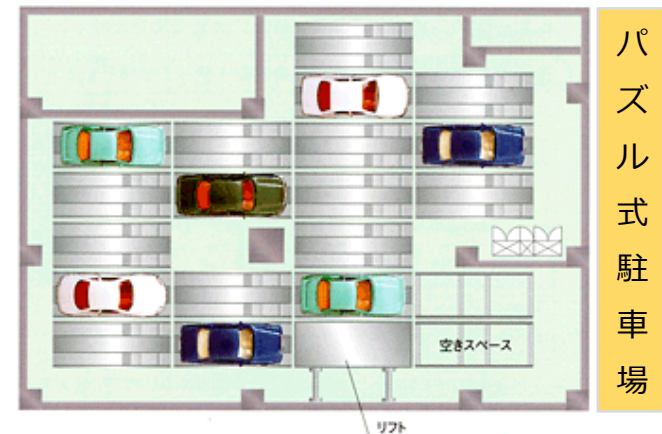
## ▼ 機械式駐車場



自動倉庫  
ASRS



自動搬送台車  
AGV



パズル式駐車場

# 01 国内主要拠点

- ・ 2015年 5月 : 本社と新橋事業所を移転・統合
- ・ 2015年10月 : MHIMT搬送システム事業承継(広島駐在事業所)

新居浜事業所 (愛媛県)



北関東拠点

本社  
(東京都港区)  
日比谷事業所



広島駐在事業所

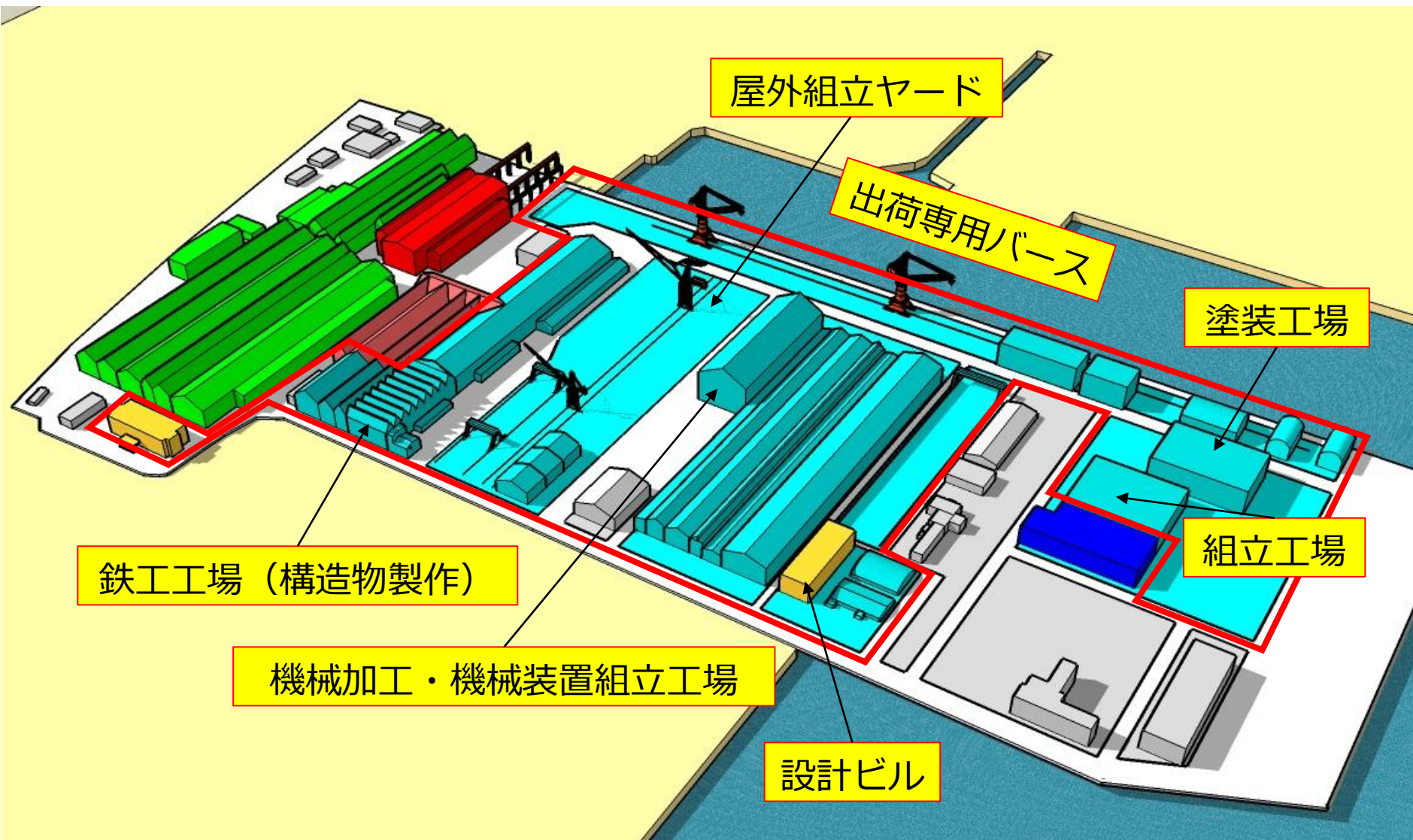
九州拠点

横浜拠点

大阪支社

名古屋拠点

厚木拠点

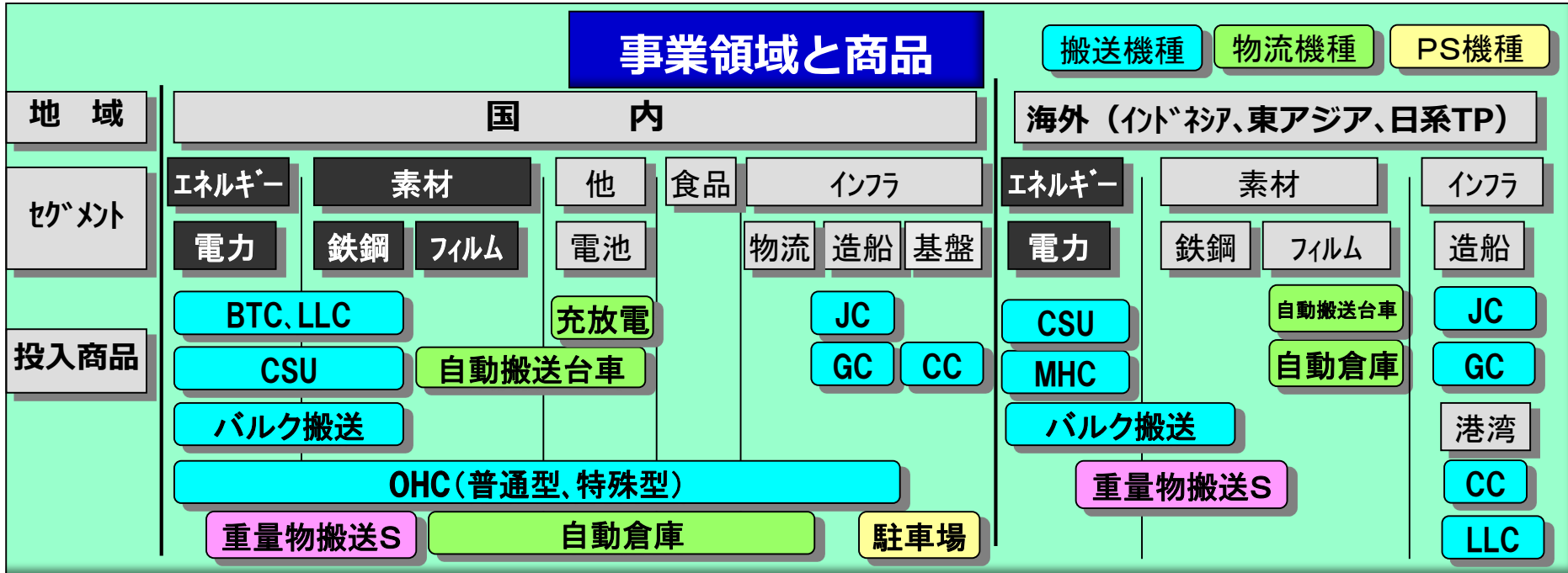


# 02

## 経営方針と 中期経営計画2016の進捗

# 02

## 経営方針



### 事業ビジョン

マテハン分野でNo.1の顧客サービスと製品を提供し骨太の事業体を構築する。

### 基本戦略

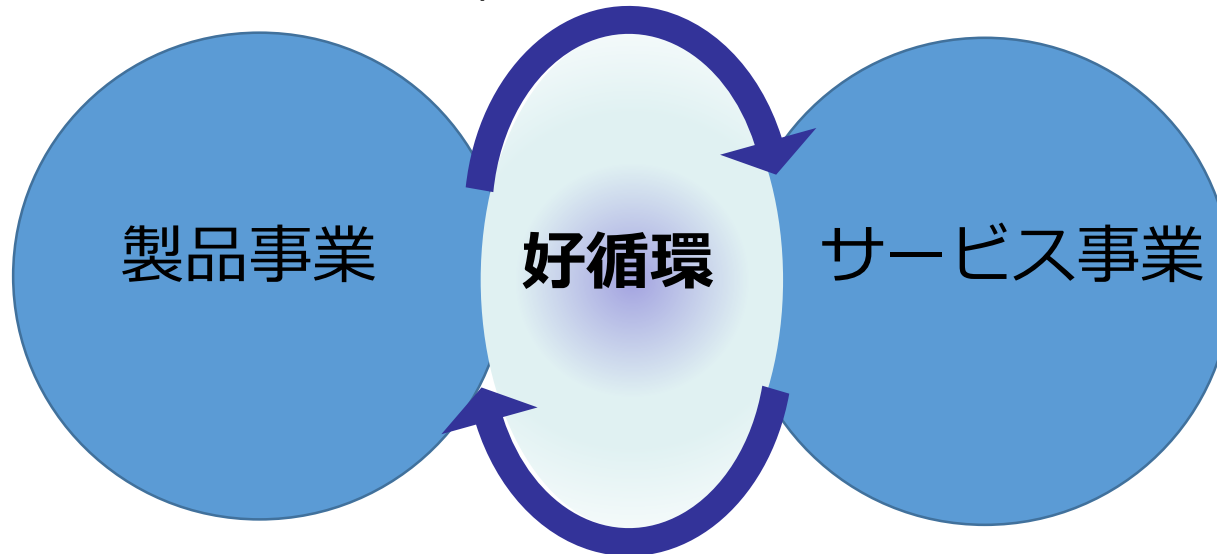
- ・ 製品とサービスの好循環で高収益を確保する。
- ・ 製品競争力向上でセグメントの拡大と創出を図る。
- ・ 業務品質（製品品質,コンプライアンス,安全）を確保する。
- ・ 収益最大化と着実な成長。

## 02

## 製品とサービスの好循環

製品納入後も俊敏なサービス対応で高い顧客信頼を獲得する

SHI-MHの各事業は製品とサービスが二つの柱



- 設備稼働維持のための俊敏なサービス対応 ⇒ 顧客満足度の向上
- 機能品質VOCの聴取と製品へのフィードバック ⇒ 製品品質の進化 ⇒ 競争優位
- 納入製品の増加 ⇒ サービス需要拡大

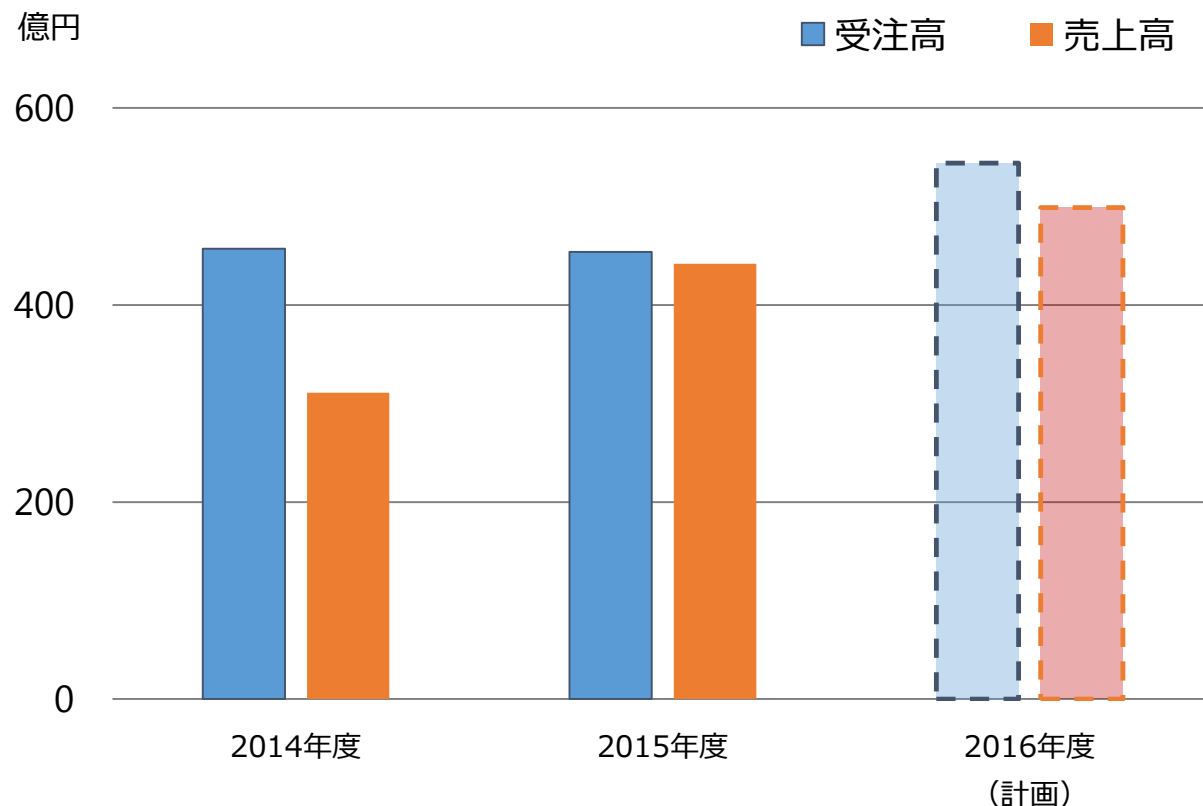


良好な顧客関係基盤の更なる強化

## 02

## 中期経営計画2016 進捗 - 受注・売上 -

(単位：億円)	2014年度	2015年度	2016年度 (計画)
受注高	460	450	540
売上高	310	440	500



※ 2015年度下期より三菱重工マシナリーテクノロジー統合分を含む

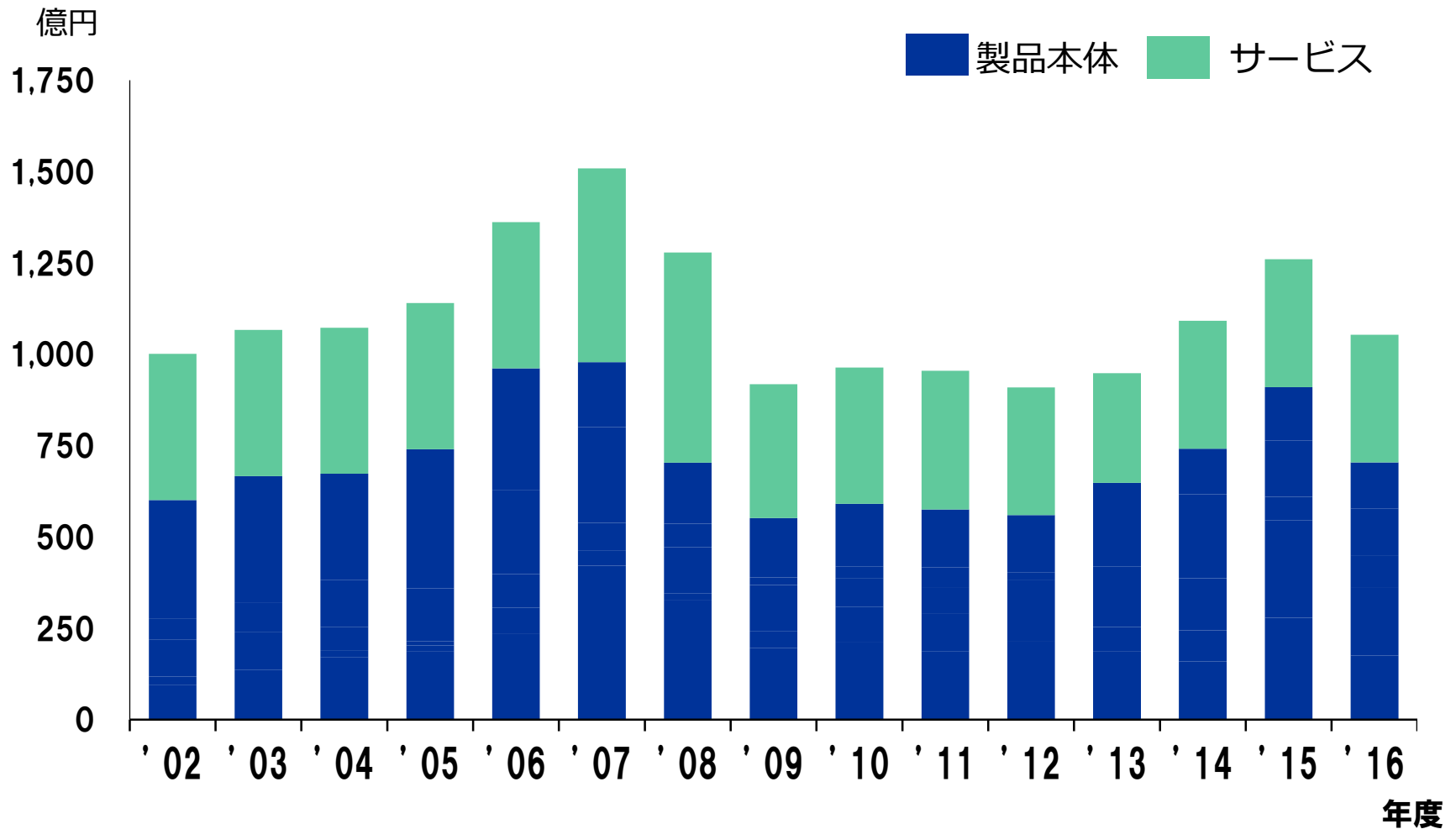
# 03

## 産業用クレーン事業戦略



## 03

## 国内市場規模の推移



注：各種統計資料より弊社推計

## 03

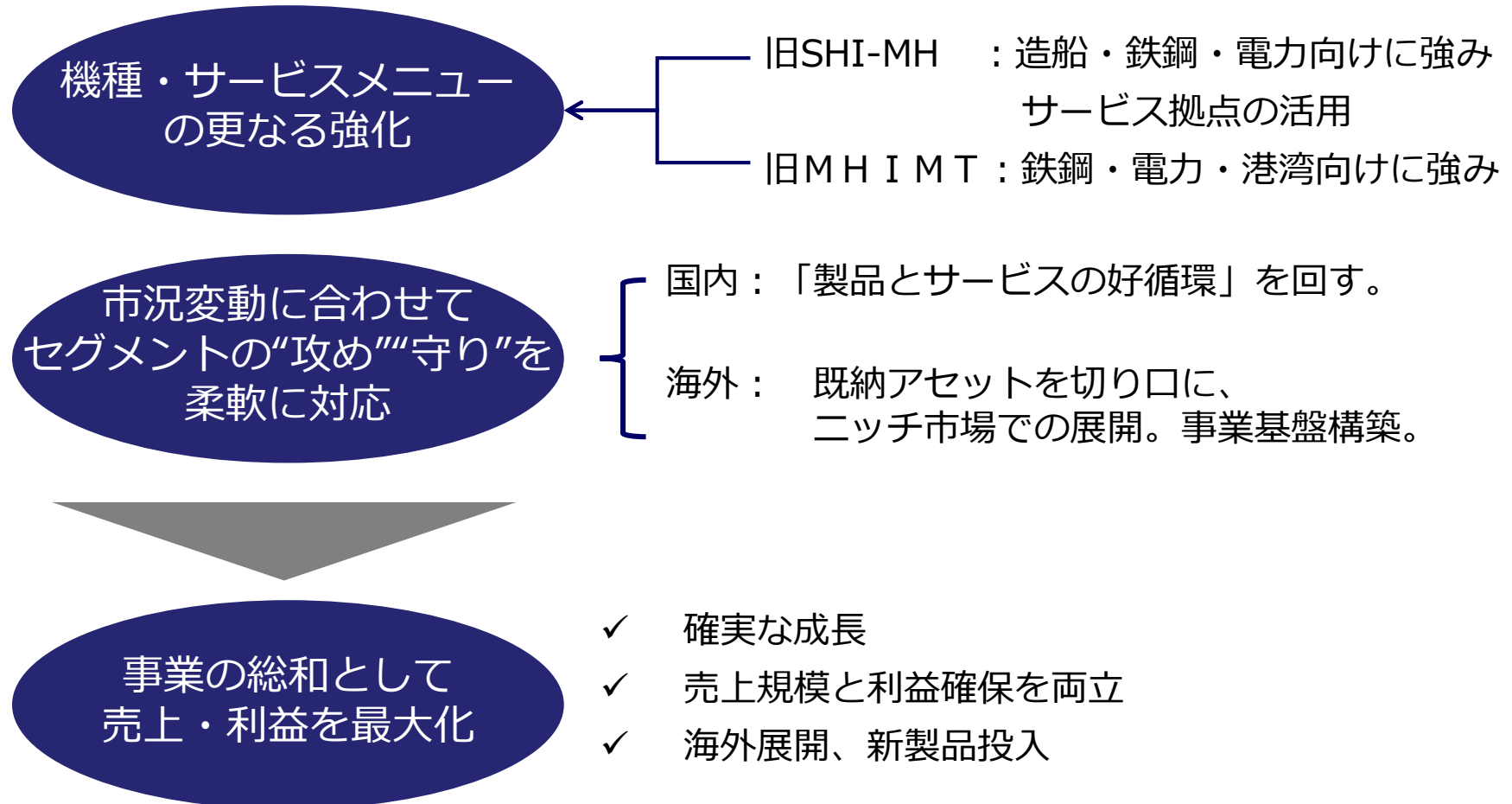
## 国内・海外 重点攻略セグメント概況

セグメント	対象機種	セグメント概況	
		日本国内	海外（東アジア・ASEAN他）
① 造船	OHC、JC、GC	<ul style="list-style-type: none"> <li>円高、バルカ-市況悪化で投資減となるも、潜在的な需要あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国：供給過剰による工場統廃合</li> <li>台湾：老朽化設備の更新需要</li> </ul>
② 高炉	CSU、BTC LLC、LC、OHC	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化設備の計画的な更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東アジアの鉄余りの構造問題あり、投資は限定的</li> </ul>
③ 電力 エネルギー	CSU、OHC、JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>現有設備の更新需要あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力需要増による発電所建設計画あり（日本企業の積極的な参画）</li> </ul>
	バルク搬送システム BC、ヤード機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>Co2排出規制で石炭火力設備の実現性を注視</li> </ul>	
④ 港湾	CC、TC ハイブリット電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存設備が老朽化更新時期へ</li> <li>国際バルク戦略ターミナル構想での投資計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾開発事業が進行すると思われる</li> </ul>

## 03

## 成長に向けた基本戦略

## ■ 機種・サービスの多様な品揃えによる市況への柔軟性を強みとして安定的に成長



# 03

## 事業統合により機種強化&補完されたセグメント

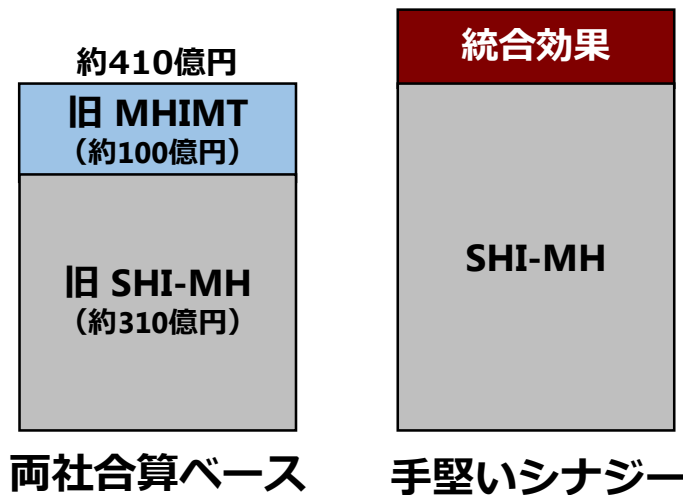
青色：旧SHI-MH    オレンジ色：補完された機種  
 ◎：高シェア

黄色：旧MHIMT

		造船	高炉	電力 エネルギー	港湾	その他
屋内	OHC	○	◎	◎		○
	JC・LLC・ GC・BTC	◎	○	○	○	◎
カサモノ	CC・TC・ 自動化				○	
	CSU・BTC		◎	◎	○	○
	ST・RE ・SR		○	○		
バラモノ	コンバシステム			○		

## 国内トップのクレーンメーカーを目指す

- ◇ 優良かつ豊富な顧客基盤継承
- ◇ 人材リソース補強  
営業／サービス・設計
- ◇ 優れた技術資産の獲得
- ◇ 製品ラインナップ拡充  
機種強化&補完
- ◇ TPS活動の推進  
(工場生産性向上)



さらなるシナジー

- ・ 鉄鋼・電力・造船セグメントにおける事業強化・収益最大化
- ・ 港湾セグメントの受注強化
- ・ サービスメニュー拡充と部品販売強化

- ・ 両社の技術資産を生かした製品開発
- ・ 海外市場での得意分野攻略

# 03 成長へのマイルストーン

まずは1+1=2の実現、2018年に向け、統合シナジーを発揮し、1+1=3を目指す。海外での製品・サービス受注も確保

今期中計2015-16

次期中計2017-19

2020以降

## “1+1=2”実現

- 各機種レビュー、強化  
→機種戦略の構築
- 製造・調達強化  
→サプライチェーン再構築
- 組織能力強化  
→人材リソース再配置
- 海外の足場構築  
→既納アセット活用を切口に

## “1+1=3” (シナジー) 実現

- 各機種戦略の実践
- 開発の推進  
→製品競争力強化の視点
- サービス事業拡大  
→メニュー補完による提案型サービス強化  
→拠点配置見直し
- 海外戦略の実践

## 更なる発展

- 国内強化  
→製品・サービスの好循環強化  
- 柱となる機種の拡大
- 海外拡大

# 03 まとめ

## 産業用クレーン

成熟機種ではあるが、産業・生活を支える重要な事業  
港湾、電力、造船など基幹産業に貢献

住友重機械の祖業のひとつ  
新居浜を製造拠点として  
100年の歴史を誇る

三菱重工とのクレーン事業統合は  
順調に進んでいる  
顧客基盤を受継ぎ、技術の融合で  
さらなる拡大を目指す



# ご清聴ありがとうございました。

将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。